

# 教育 かしま

第 16 号

発行日  
平成 24 年 3 月 30 日  
発行  
鹿嶋市教育委員会  
連絡先  
鹿嶋市教育委員会 教育総務課  
Tel. 0299-82-2911 (内線 532)

地域の特色ある教育活動を応援し、開かれた教育環境を推進していくための情報を掲載していきます。

## 第二幼稚園新園舎に 元気な笑顔が帰ってきました！



▲一つ屋根の下で共に過ごす園児たちを、力強く優しく包み込んでくれる大きな屋根

昨年 3 月 11 日発生した東日本大震災で被災し、高松小学校敷地内に移築を進めてきた第二幼稚園が 3 月 15 日完成しました。

新しさの中に懐かしさを包み込む木造園舎造りをコンセプトに、保育室などのメイン空間は無垢材(※)のフローリングや塗り壁などの自然素材で作られ、手作業の痕跡が残る温かみのある空間としています。また、オープンスペースの保育室は、可動間仕切りによって用途に応じた変化にも対応できる仕組みとなっており、収納スペースも十分確保されています。

完成を前にした 3 月 13 日・14 日には、震災以来、第五幼稚園での合同生活を送ってきた園児たちが一時的に戻っての園活動が行われ、砂場やホールで思い思いにのびのびと楽しむ姿が見られるなど、第二幼稚園に 1 年ぶりに元気いっぱいの笑顔が帰ってきました。4 月からは「高松幼稚園」と名称も改め、幼小中の連携を基本にした地域の施設として、世代を越えた交流が期待されています。

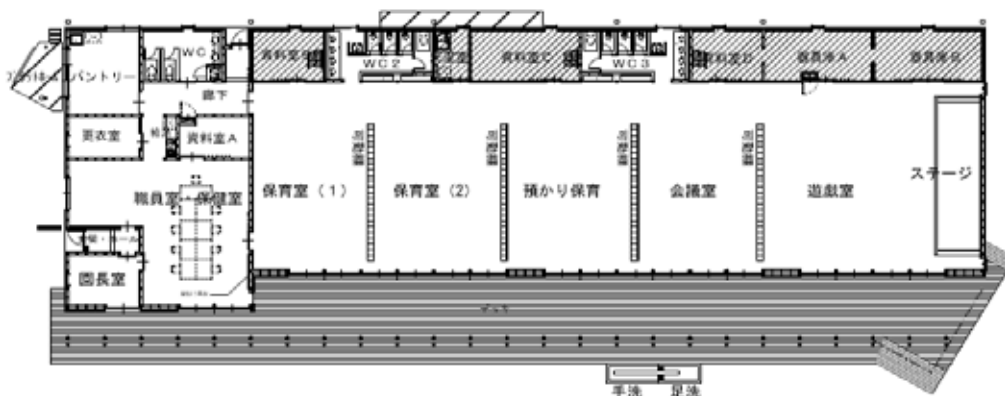
※無垢材・・・化学物質を含まない純粋な木材



▼オープンスペースの保育室



▼舞台袖のついた遊戯室



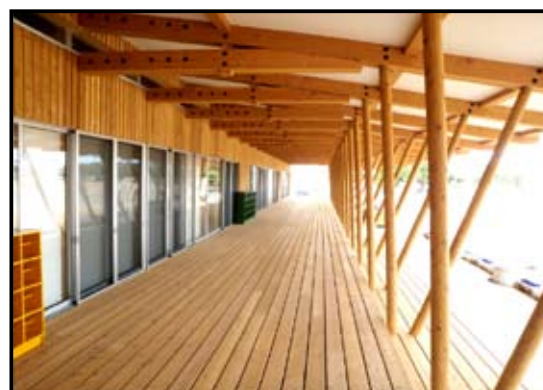
地域との絆を大切にした園づくり

第二幼稚園長 永田 貴子

震災のため、昨年4月から第五幼稚園で生活を送ってきましたが、願いがかない、3月中に2日間園児たちと新園舎での思い出づくりをすることができました。

新園舎は、「光と風、そして木のぬくもり」をテーマに、高松小学校プール跡地に建設されました。震災後の市の対応は素早く、5月には保護者も加わっての再建整備検討委員会での設計検討や建築確認申請、プール解体などを経て10月に工事着手し、半年での完成でした。この間、保護者の皆さんには、引越しや植物の預かり栽培などに進んでご協力いただきました。震災でご苦労されていた方もいらした中、どなたも明るく前向きに頑張っているお姿に元気をいただきました。また、第五幼稚園の保護者や先生方も第二幼稚園児を快く受け入れてくださり、園児にとって思い出多い充実した1年間となりました。大地震で被災した幼稚園の再建にあたり、多くの方々の優しさや力強さに励まされ、勇気づけられたこの1年でした。

4月からは高松幼稚園と名称を改め、保護者はもちろんのこと地域の方々との絆も大切にしながら、全職員一丸となって地域に根ざした幼稚園づくりに頑張っていきます。



▲父母同士の交流の場など、多様な活用が期待できるデッキとテラス

幼稚園名称が

4月1日から変わります！

地域に根ざした、より親しみやすい施設として、幼稚園の名称が変わります。

- (旧) 第一幼稚園 → (新) 三笠幼稚園
- (旧) 第二幼稚園 → (新) 高松幼稚園
- (旧) 第三幼稚園 → (新) 波野幼稚園
- (旧) 第四幼稚園 → (新) 豊郷幼稚園
- (旧) 第五幼稚園 → (新) 平井幼稚園

※はまなす幼稚園は変更ありません。

※高松幼稚園の住所が鹿嶋市粟生 301 番地に変更になります。



## 新しい時代の訪れを告げる震災復興祈願の祭頭祭

鹿島地方に春を告げる祭頭祭は3月9日に行われ、鹿島神宮で行われる年中行事の中でも最も規模が大きく勇壮な祭典です。今年の祭頭祭は、東日本大震災の影響で例年行っている当番地区による囃しの奉納ができなくなりました。そこで、特例ということで鹿嶋市・神栖市・銚田市が協力して立ち上げている「祭頭囃保存会」が一般参加者を募って行いました。祭頭祭を囃すことのない地区の人も含め、大勢の子どもたちや女性陣も参加して被災地鹿島から元気な鹿島をアピールしてくれました。いつもの祭頭と違い市民の祭頭祭といったところです。また、今年は例年になく古式ゆかしく稚児行列が登場しました。（稚児は、古い時代には花笠をかぶり歌舞などを披露したことが記録されています。）

侍大将のほら貝が吹かれ、楽士が太鼓を打ち鳴らすと、内田俊郎実行委員長の掛け声を合図に行列が本陣を出立、祭頭囃が開始され色鮮やかな衣装の囃し人がほら貝や太鼓の音に合わせて囃し歌を歌い、檜棒をガッシガッシと組みながら進んでいきます。威勢のいい掛け声は夕刻まで神宮の森に響き渡りました。

総勢750名、当日はあいにくの雨となりましたが、勇ましく出陣した今年の祭頭祭は、大総督吉福直太君の采配で明るく、元気な思いを東北や全国に向けて届けられたと思います。

夕方の春季祭で、来年は南郷（左方）神栖区で、北郷（右方）が荒井区に卜定されました。



▲雨の降るなか行われた祭頭祭

## 平井中学校 幡谷教育振興財団賞を受賞！！



▲幡谷賞受賞時のようす

平井中学校が、2月9日に「幡谷教育振興財団賞」を受賞しました。

この賞は、次代を担う児童・生徒の科学への関心を高め、意識の向上と豊かな創造力を啓発、優れた科学者育成を図り、学術・文化の発展に寄与することを目的に、幡谷教育振興財団（幡谷祐一理事長）が昭和59年度に創設したものです。本年度は、茨城県内の理科教育優秀校として茨城県教育委員会が推薦した小中学校6校に対し同賞が贈呈されました。

平井中学校では、「知性に富み、心豊かでたくましく生きる生徒の育成を期する」を教育目標に掲げ、学力向上に取り組んでいます。

主な取り組みとしては、青少年のための科

学の祭典鹿行地区大会の会場校として、教師だけでなくボランティア生徒60名以上が参加し、大会の運営や展示ブースの手伝いを積極的に行ったことや、鹿島神宮の自然観察、鹿島宇宙技術センターの見学などです。年々、生徒の科学に対する興味・関心が高まっています。また、多くの生徒が科学研究等に取り組み、校内の科学研究作品展及び発明工夫展は、平成22年度で120点、平成23年度で160点ほどの作品が提出されています。

このような取り組みが評価され、昨年度は「げんでん財団学校賞」を受賞。そして、今回の受賞となりました。

鹿嶋っ子から宇宙飛行士を！  
布施哲治先生の楽しくやさしい天文学講座

▼楽しいパラボラアンテナ作り



▲真剣に先生のお話を聞く親子

1月28日に中央図書館で、理学博士の布施哲治先生を招いて「ようこそ宇宙へ」をテーマにした講演会を開催しました。この講演会は3月から開講している「楽しくやさしい天文学講座」のイベントで、当日は、親子連れや一般市民の方など大勢の方々が参加し、わかりやすい先生のお話とペーパークラフトでパラボラアンテナを作成したりして楽しい講演会となりました。

天文学講座を開催するのは、子どもたちに科学を好きになってほしいという布施先生の熱い思いからで、講座もお話だけではなく、工作を取り入れたり、望遠鏡を使ったり、会場が図書館のため、本を前面に出したりなど、毎回違った内容の講座を計画しています。

この講座を契機に科学に興味をもつ子どもが増え、将来、宇宙飛行士になったり、新しい星を発見したりする鹿嶋っ子が誕生する夢も膨らみます。皆様のご来場をお待ちしています。

(今後の予定)

4月21日(土)、5月26日(土)、6月30日(土) 10時30分～11時30分  
鹿嶋市立中央図書館 会議室 問合わせ先 TEL 83-2510

たくさんの皆様から寄贈いただきました！

鹿嶋市教育委員会に対して、多くの団体・個人の皆様から寄贈いただきました。この場を借りて感謝申し上げます。

一般社団法人 健やかいばらき 100人の会 様から、子ども用のマスクと、ハンドソープを寄贈いただきました。また、JX日鉱日石エネルギー株式会社のグループ会社である鹿島石油株式会社 鹿島製油所 様からも、JX童話賞作品集「童話の花束」1,200冊を寄贈いただいています。その他、ぺんぺん草の会 様から星野富弘氏の詩画集などの図書を、鹿野中学校には、株式会社トラストホーム 様からストップウォッチ等を、三笠小学校に対してはキリンビバレッジ株式会社 様とセイミヤ鹿島東店 様からベルマークを寄贈いただきました。これらのベルマークを利用して、学校の設備や教材の購入などをさせていただきます。マスク、ハンドソープ、図書は、市内の小中学校や幼稚園・保育園など各施設に配布し、有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

